

・大森駅北口バリアフリー化について

Q. 大森駅北口の品川区側は階段と長いエスカレーターのための構造となっていてエレベーターがないため、ベビーカーで北口側から山王や大井側へ抜けることができないのです。

また、北口を使用する人が多いことから、エスカレーターも常に誰かが歩いている状況です。大森駅北口の品川区側は階段と長いエスカレーターのための構造となっていてエレベーターがありません。駅ビルを使うこともできません。

その中で、子供と手を繋いで乗ることも危険と感ずることがあります。高齢者や大きな荷物を持った人に対しても危ないなと感じます。階段を使うか遠回りか中央口を使うかになってしまいます。

エレベーター設置には多額の費用がかかることも承知していますが、事故等起きる前に対策をして頂けたらと思います。

どうぞ、ご検討を宜しくお願いします。

A. 区では区内の鉄道駅のバリアフリー化を推進し、可動式ホーム柵やエレベーターの設置などに取り組んでおります。これにより平成 25 年度には区内全鉄道駅にバリアフリールートを確認いたしました。

大森駅西口から中央改札口へのバリアフリールートが確保されており、大田区における大森駅のバリアフリーの位置づけは、大森駅周辺地区グランドデザインにより、誰もが利用しやすいエレベーター等の整備などに取り組むとあります。大森駅北口につきましては、鉄道駅のバリアフリールート確保の観点からは、改札口からホームに降りる階段のバリアフリー化が前提となり、これと一体的に当該歩道橋のエレベーターを整備する必要があります。

大森駅が位置する大田区や鉄道事業者の事業計画もあるため、区単独で整備することはできませんが、ご要望につきましては鉄道事業者に伝え、更なるバリアフリールートの確保に向け働きかけを行ってまいります。ご理解の程よろしくお願ひいたします。

(都市環境部都市計画課)